

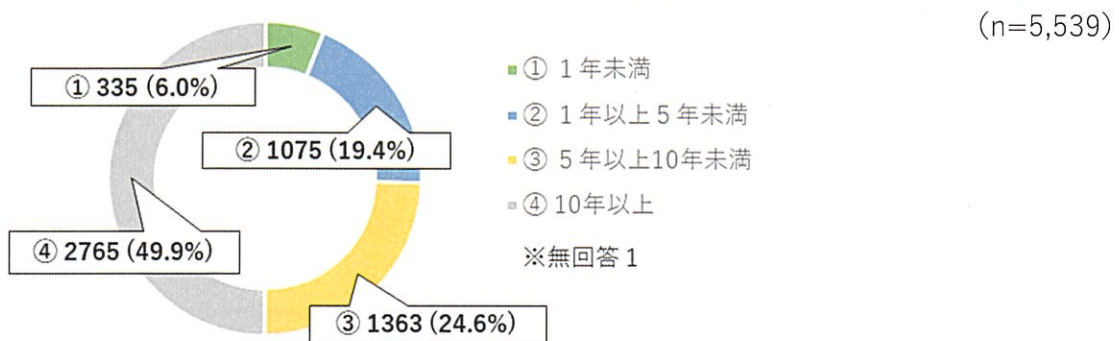
# 1 (3) 介護保険施設 (施設職員)

## 1 実態調査における調査項目ごとの回答内容

### A - ① 現在の状況

#### 問1(1) 通算経験年数

\* 通算経験年数は、「④ 10年以上」が49.9%と最も多く、次いで「③ 5年以上10年未満」が24.6%、「② 1年以上5年未満」が19.4%となっています。



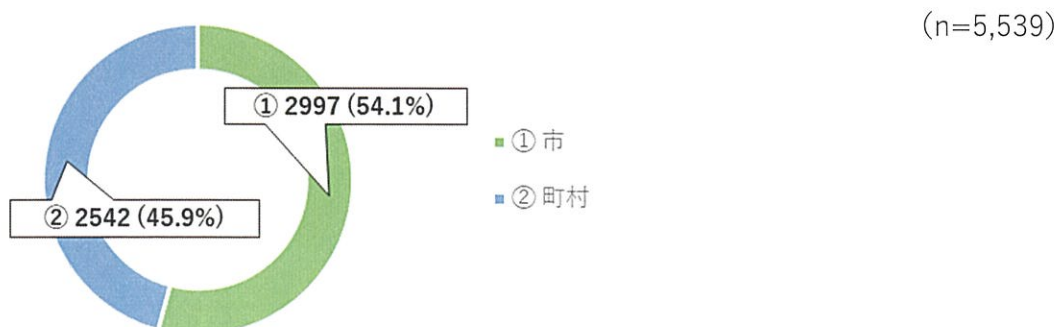
#### 問1(2) 雇用形態

\* 雇用形態は、「① 正規職員」が77.7%となっており、「② 正規職員以外」は22.3%となっています。



#### 問1(3) 施設の所在市町村

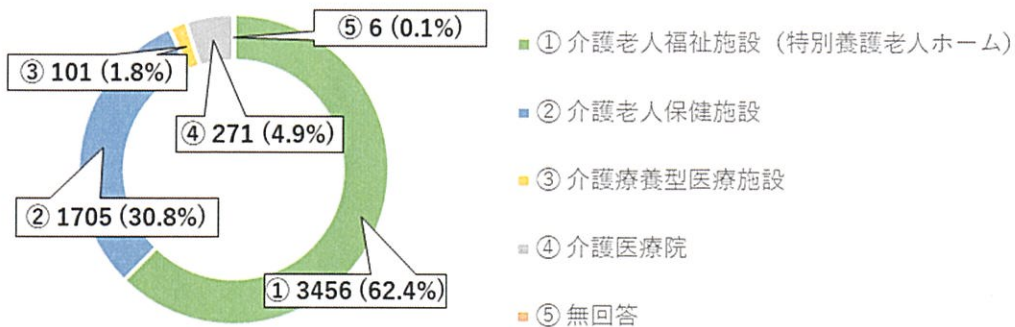
\* 介護保険施設の所在市町村は、「① 市」が54.1%となっており、「② 町村」は45.9%となっています。



### 問1(4) 施設種別

\* 介護保険施設種別は、「① 介護老人福祉施設」が62.4%となっており、次いで「② 介護老人保健施設」が30.8%、「④ 介護医療院」が4.9%、「③ 介護療養型医療施設」が1.8%となっています。

(n=5,539)

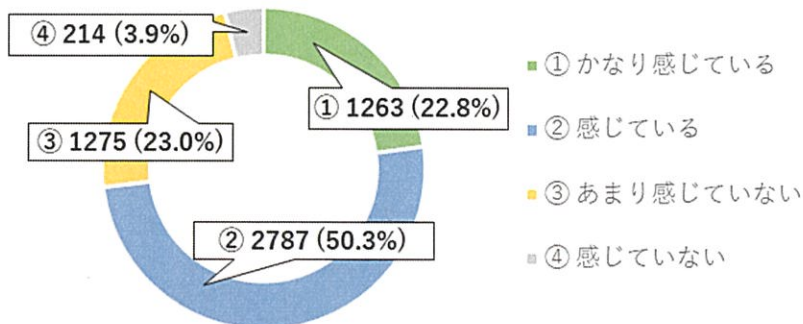


## A - ② 職場環境

### 問2(1) 業務負担

\* 業務の負担は、「② 感じている」が50.3%と最も多く、次いで「③ あまり感じていない」が23.0%、「① かなり感じている」が22.8%となっています。

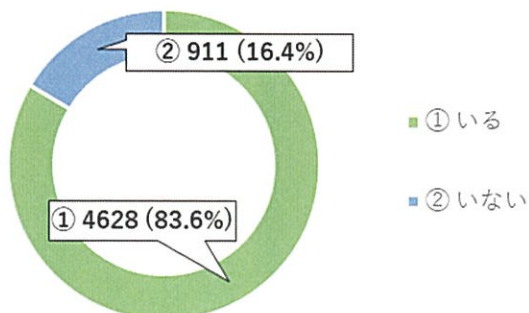
(n=5,539)



### 問2(2) 相談・適切なアドバイス

\* 相談にのったり適切なアドバイスをしてくれる存在は、「① いる」が83.6%となっており、「② いない」の16.4%を大きく上回っています。

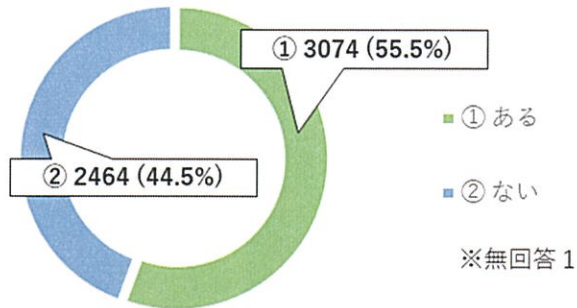
(n=5,539)



### 問2(3) クライアントハラスメントの状況

\* クライアントハラスメント（利用者からの暴力行為・性的嫌がらせ等）を受けたことがある人は、「① ある」が55.5%、「② ない」は44.5%となっています。

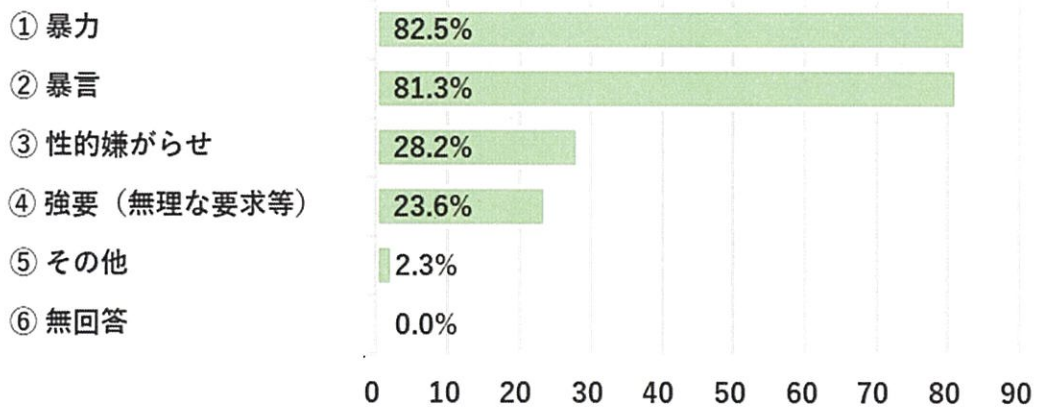
(n=5,539)



### 問2(4) クライアントハラスメントの内容【複数回答あり】

\* クライアントハラスメントの内容は、「① 暴力」が82.5%と最も多く、次いで「② 暴言」が81.3%、「③ 性的嫌がらせ」が28.2%となっています。

(n=3,074)



<「その他」の主な内容>

1	手を捕まれた、払いのけられた。
2	介助の際、つねられたりした。
3	身体に触る
4	かじる、つねる、唾かけられる
5	性的な質問をされる等、触られる等
6	大声で怒鳴り威圧された。身体介護中に叩かれる。
7	体を触られた。腕、胸など。
8	男性利用者が胸元に顔を付け抱きつく
9	他利用者に評判を下げるような嘘の話をする
10	不可能な訴えを繰り返す。用もないのにコールを押す嫌がらせ

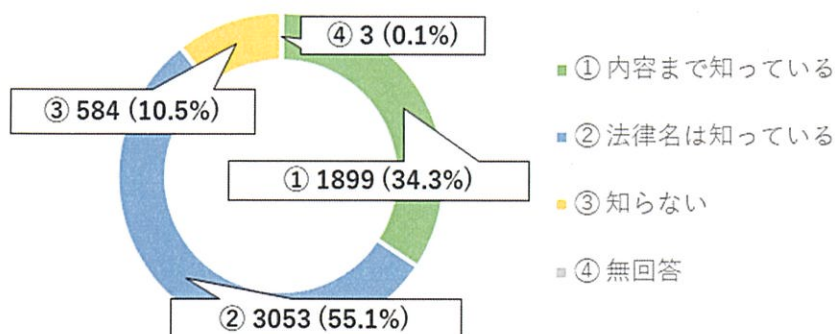


## A - ③ 高齢者虐待防止法

### 問3(1) 高齢者虐待防止法の認知

\* 高齢者虐待防止法については、「② 法律名は知っている」が55.1%、次いで「① 内容まで知っている」が34.3%、「③ 知らない」が10.5%となっています。

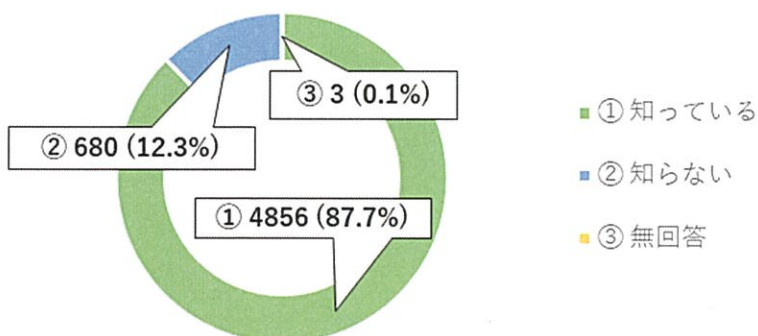
(n=5,539)



### 問3(2) 通報義務

\* 通報義務について、「① 知っている」が87.7%となっており、「② 知らない」は12.3%となっています。

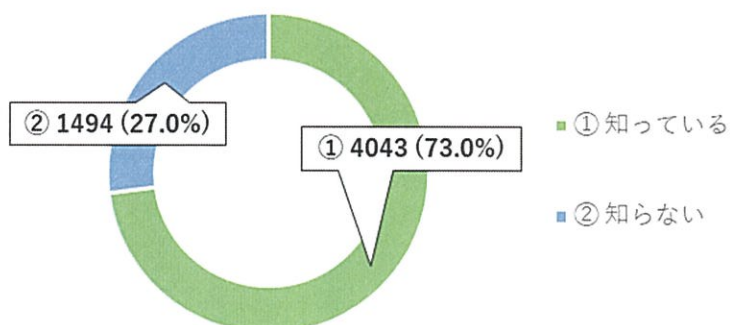
(n=5,539)



### 問3(3) 通報等による解雇・不利益な取扱い

\* 通報したことにより解雇・その他不利益な取扱いを受けないことが法律で規定されていることについて、「① 知っている」が73.0%となっており、「② 知らない」は27.0%となっています。

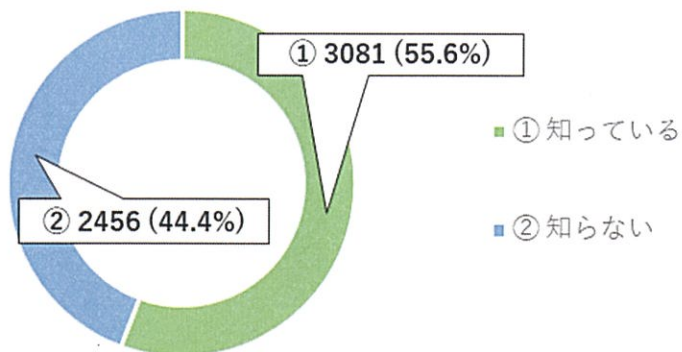
(n=5,539)



**問3(4) 通報窓口**

\* 通報窓口について、「① 知っている」が55.6%となっており、「② 知らない」は44.4%となっています。

(n=5,539)

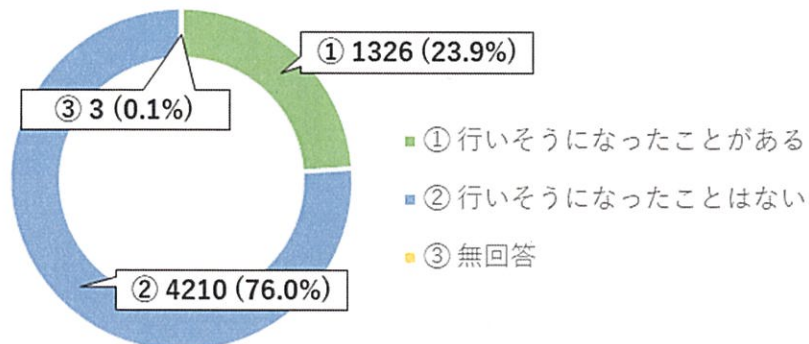


A-④ 高齢者虐待の状況

**問4(1) 虐待行為等を行いそうになったことの有無**

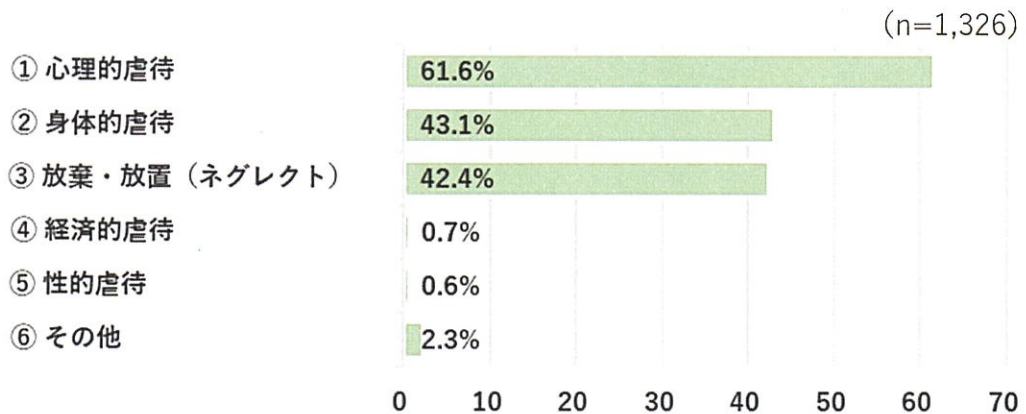
\* 虐待行為等を行いそうになったことの有無は、「① 行いそうになったことがある」が23.9%となっており、「② 行いそうになったことはない」は76.0%となっています。

(n=5,539)



**問4(2)ア 行いそうになった虐待行為等の内容【複数回答あり】**

\* 行いそうになった虐待行為等の内容は、「① 心理的虐待」が61.6%と最も多く、次いで「② 身体的虐待」が43.1%、「③ 放棄・放置（ネグレクト）」が42.4%となっています。

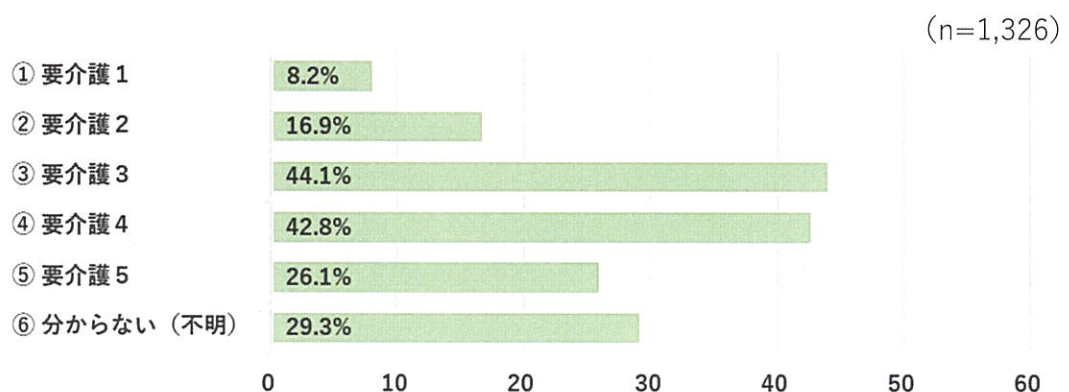


<「その他」の主な内容>

1	トイレ介助の際、ちょっと待っててね、といってしまう～
2	たたかれたときや胸に触られたときに、反射的に手を払ったときに強く払ってしまった。
3	居室のドアに物を置き出られないようにしてしまった
4	何時もより少し対応が冷たかった時がある。
5	ご本人に対して「かわいい」と言ってしまうこと。
6	不穏状態で何度も立ち上がりいけなとは思いつながら、対応できる職員が少なく「座っていて」と言ってしまう。ゆっくり話を聞くことが出来ず利用者が不満に思っているのは解るが、途中で話を切り上げて業務を優先してしまう。
7	すぐに対応できず『ちょっと待ってください』と声掛けをした
8	暴言
9	強い口調で言う事を聞いてもらう。
10	丁寧に説明しても理解してもらえず、要求を聞いても納得して頂けない時にその場を離れました。

**問4(2)イ 行いそうになった虐待行為等の対象者の状態（要介護度）【複数回答あり】**

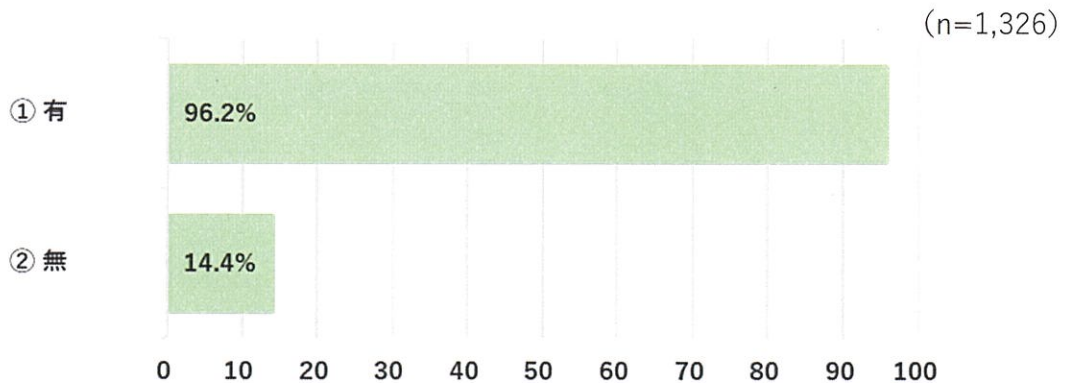
\* 行いそうになった虐待行為等の対象者の要介護度は、「③ 要介護3」が44.1%と最も多く、次いで「④ 要介護4」が42.8%となっています。





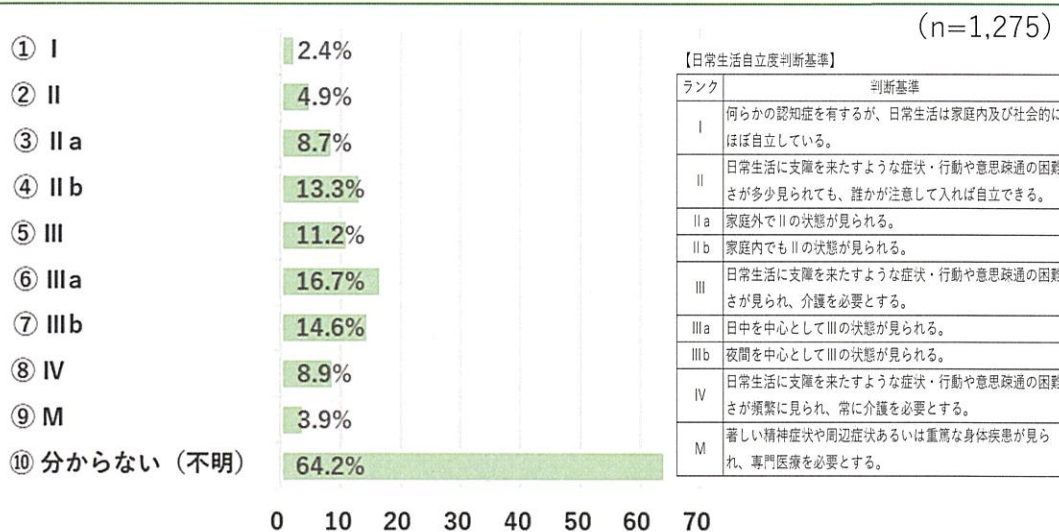
**問4(2)イ 行いそうになった虐待行為等の対象者の状態（認知症の有無）【複数回答あり】**

\* 行いそうになった虐待行為等対象者の認知症の状態は、「① 有」が96.2%となっており、「② 無」の14.4%を大きく上回っています。



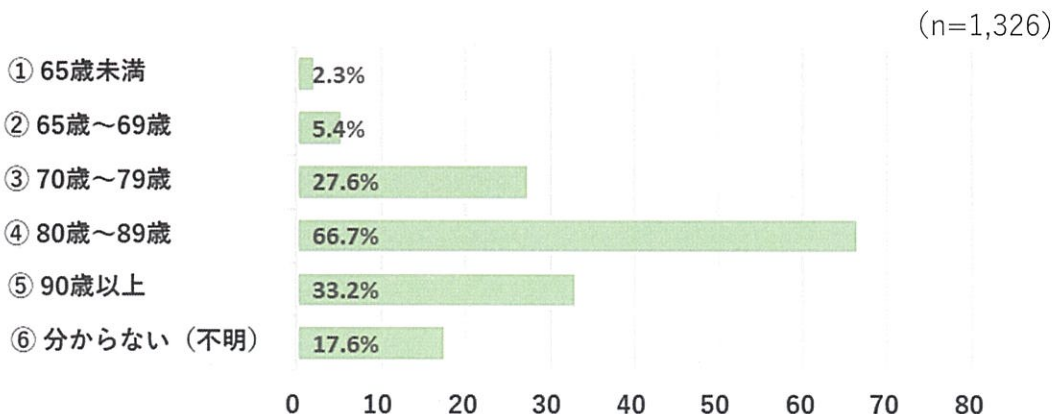
**問4(2)イ 行いそうになった虐待行為等の対象者の状態（日常生活自立度）【複数回答あり】**

\* 行いそうになった虐待行為等対象者の認知症高齢者の日常生活自立度は、「⑥ III a」が16.7%となっており、次いで「⑦ III b」が14.6%となっています。



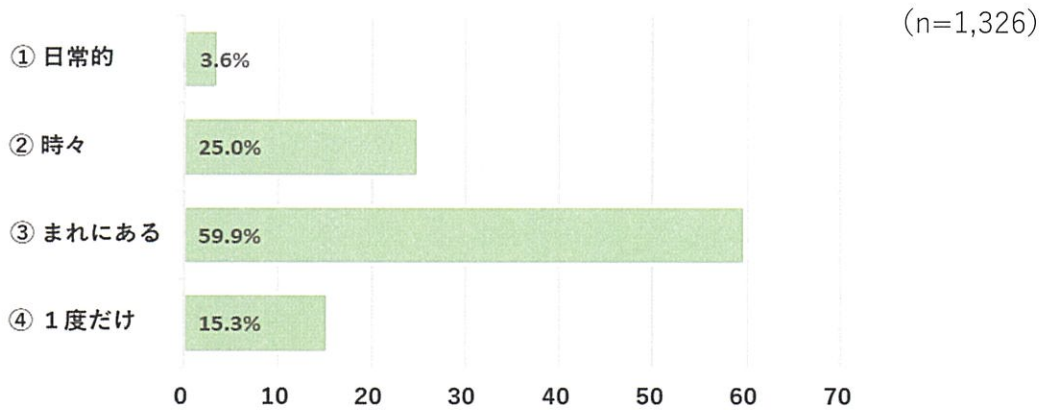
**問4(2)ウ 行いそうになった虐待行為等の対象者の年齢【複数回答あり】**

\* 行いそうになった虐待行為等の対象者の年齢は、「④ 80歳～89歳」が66.7%と最も多く、次いで「⑤ 90歳以上」が33.2%、「③ 70歳～79歳」が27.6%となっています。



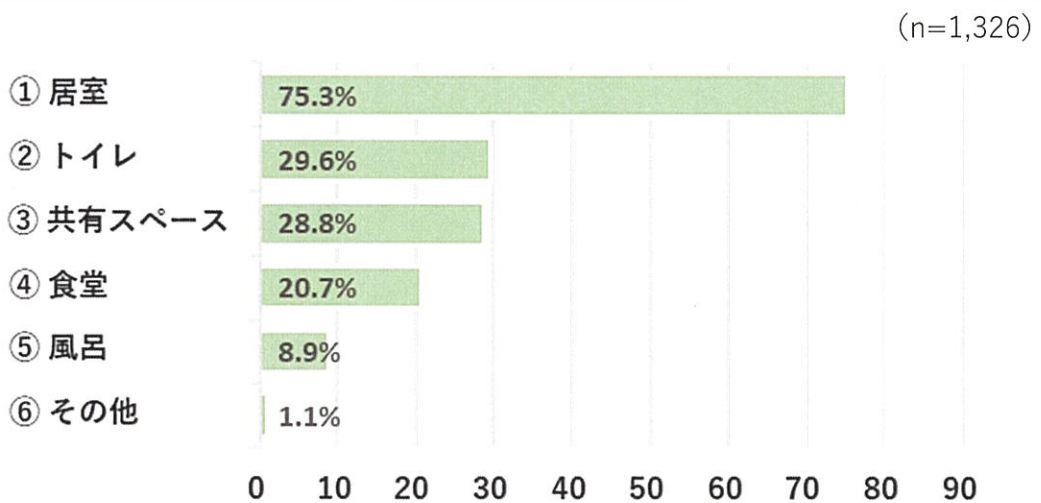
**問4(2)エ 虐待行為等を行いそうになった頻度【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を行いそうになった頻度は、「③ まれにある」が59.9%と最も多く、次いで「② 時々」が25.0%、「④ 1度だけ」が15.3%となっています。



**問4(2)オ 虐待行為等を行いそうになった場所【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を行いそうになった場所は、「① 居室」が75.3%と最も多く、次いで「② トイレ」が29.6%、「③ 共有スペース」が28.8%となっています。



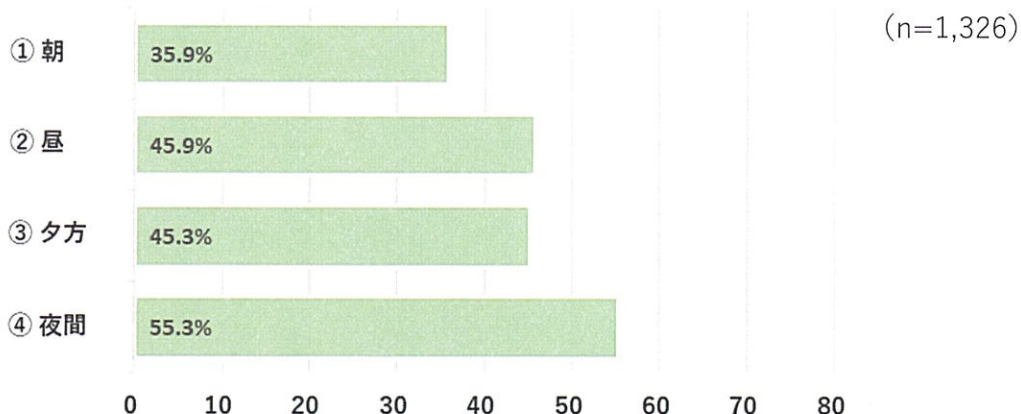
<「その他」の主な内容>

1	相談室
2	廊下
3	施設内の特定の場所ではない
4	施設内の利用されている場所全て。
5	リハビリスペース
6	覚えてない。
7	病院の待合室
8	特定の場所ではなく、自分が突然一方的に暴力を受けた場合に、カッと手が出そうになる。
9	一人でオムツ交換を行う時の抵抗する利用者がつねる、叩く、唾を吐く、便のついた陰部触ろうとする時手を押さえてしまう。自立してる利用者が車椅子の利用者を立ち上げようとするとき大声で注意してしまう。
10	場所は関係なし



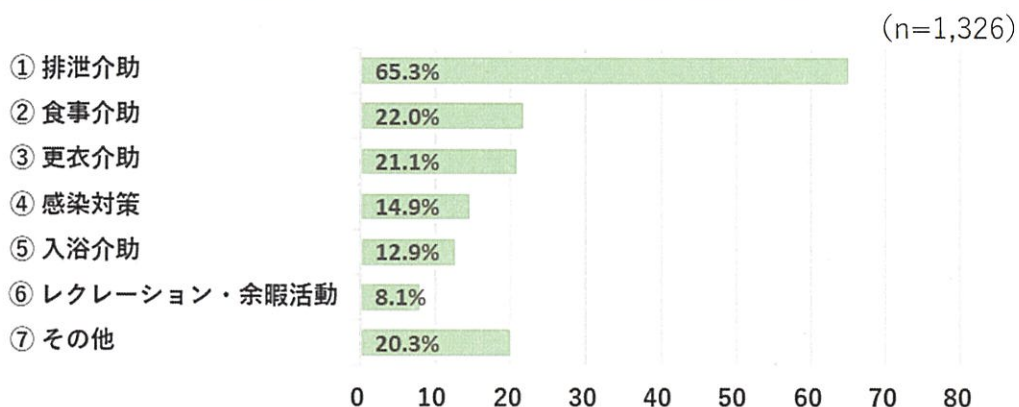
**問4(2)カ 虐待行為等を行いそうになった時間帯【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を行いそうになった時間帯は、「④ 夜間」が55.3%と最も多く、次いで「② 昼」が45.9%、「③ 夕方」が45.3%となっています。



**問4(2)キ 虐待行為等を行いそうになった場面【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を行いそうになった場面は、「① 排泄介助」が65.3%と最も多く、次いで「② 食事介助」が22.0%、「③ 更衣介助」が21.1%となっています。



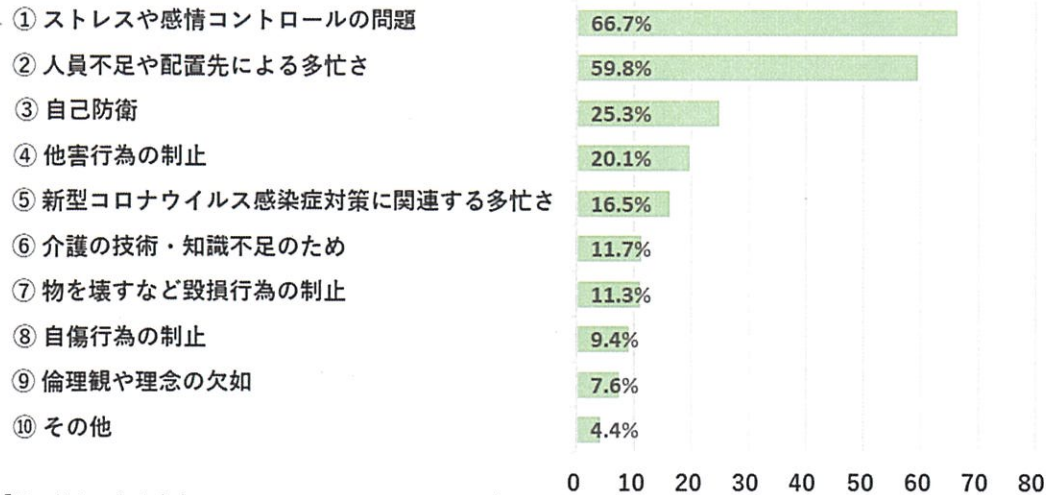
<「その他」の主な内容>

1	利用者のリハビリ対応中。
2	居室からのコール対応介助。
3	暴力、暴言症状があった時。
4	不穏になり親身に対応したのにも関わらず怒りだし暴力を受けたとき。
5	他利用者に評判を下げるような嘘の話をする。
6	認知症だとわかっていても、しつこく何度も同じ事を言い、難聴もある為話が進まず、いらいらしてしまった。
7	忙しい時間帯などに、何度も同じことを言われたり、他のケアをしているのに待ってもらえなかったりした時。
8	夜間、一晩中眠らず他利用者の居室に入ろうとしたり、どうしても行動を制止しなければならないような状況になって。
9	危険なのでやってほしくない勝手な行動をしたとき。
10	徘徊している時。

**問4(2)ク 虐待行為等を行いそうになったきっかけ・要因【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を行いそうになったきっかけ・要因は、「① ストレスや感情コントロールの問題」が66.7%と最も多く、次いで「② 人員不足や配置先による多忙さ」が59.8%となっています。

(n=1,326)



< 「その他」の主な内容 >

1	説明をしても認知症のため理解できず抵抗するなどの協力をえられない
2	用事がないのに対応後も数分後に何度もコールを押してくる方に対して、毎回行けず他の方を優先したりする事がある
3	利用者の為に行わないといけないとされている介助を、拒否されてしまう。
4	つねられたり、けられたり、髪をひっぱられたり、噛まれたりすると、手が出そうになってしまう時があった。何度も同じことを繰り返されたり、言われたりすると、聞こえないようにしてしまう時があった。
5	長時間労働による疲労の蓄積。たくさん人がいる中で、大声で「あいつは泥棒だと毎日ののしられた」そのようなことはしていないのに。
6	セクハラ発言をしつこくされた為
7	殴られた瞬間反射的に手を出す事が一瞬頭によぎる。
8	業務に対しての時間がなさすぎて焦ってしまった。
9	職員がいないなかで帰宅願望や転倒リスク者の立ち上がり、認知症利用者の繰り返しの同じ訴え。
10	施設の設備や環境が整っていない。

**問4(2)ケ 虐待行為等を行いそうになった際の相談の有無**

\* 虐待行為等を行いそうになった際の相談の有無は、「① 相談した」が51.7%となっており、「② 相談しなかった」は48.3%となっています。

(n=1,326)

